

## 2020年度 学生サポートセンターインターンシップ修了式および活動報告会

2月のメッセージが3月に入ってしまった。申し訳ありません。今日は一日をとおして青空が広がり、快晴でしたが、夕方は肌寒さを感じました。



2020年度  
学生サポートセンターインターンシップ活動報告書  
中部大学学生サポートセンター



2020年度、学生サポートセンターの運営に携わった学生サポーター（第6期コモンズサポーターと第1期キャンパスサポーター）のインターンシップ修了式が、昨日（3月2日）不言実行館2階のステューデント・コモンズにて開催されました。開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大対策を可能な限り講じて行われました。

飯吉理事長・総長、垣立法人事務局長をはじめ、ご来賓ご出席のもと開催できたのは、学生と教職員の努力あつてのことと、関係各位にお礼を申し上げます。また、学生サポートセンターの外部評価委員をお願いしている、田中淳子先生（愛知学院大学教授）にもご参列いただきました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

今年の修了生は25名でした。飯吉理事長・総長より修了証書および、学生サポーターとして学生サポートセンターの発展に多大な貢献を行った学生で、本年度でサポーターを修了する8名の学生には不言実行館賞が授与されました。様々な状況の中で、本当に必要なこと、大切なことは何かと判断し、柔軟に対応して来ました。そんな中、今年の25名は新しい学びや研究環境に適応し、自らのインターンシップを進め、成果を挙げたことにより、修了を迎えました。

修了式は無事終わりましたが、何か物足りません。列席者に居られるべき、不言実行館の山田公夫館長がいらっやいませんでした。その訃は、学校法人中部大学の副理事長でもある山田公夫先生（74歳）が2021年2月12日逝去されたからです。残念でなりません。山田先生は、1965年に中部大学の前身である中部工業大学に入学され、25歳の時に工学部の講師として、母校で教鞭をスタートされたと聞いています。学生部長、教務部長、図書館長、副理事長を歴任されてきました。

### [2020年度活動報告書](#) (PDF形式: 約0KB)



私は2006年4月の着任以降、事あるごとにお声かけいただき、行事をご一緒させていただき幸運に恵まれました。2007年のフレッシュマンキャンプでご一緒させていただき、学生との向き合い方を、一から教えていただきました。山田先生は常に、「学生を元気に」「学生のために」「学生はやる」などと発せられ、発言のほとんどが学生に関するものでした。ダメなときは「ダメ」と、はっきり仰るところも魅力的でした。山田先生には数多くのことを学ばせて頂きましたが、その教えの先は、「限られた資源を最大限に生かし、どこにも負けない強い卒業生を輩出する。それが中部大学の活性化につながる」だったと思います。そんな使命に邁進し、走り続けた偉大な先生でした。

学生教育に関わる人間としての矜持や生き方まで、今の私の学生教育における核心は山田先生の教えに導かれたものであると感じています。山田先生と一緒に仕事をさせていただいた時間、先生から頂いた一言一言が私の宝物となっています。受け入れがたいことですが、もう教えをいただくことはできません。私を始めサポートセンターの誰もの寂しさが解消されることはないでしょうが、きっと遠いところでいつもと変わらない笑顔をされ、大好きな「お酒」を片手に、我々を見てくださることでしょう。

山田先生、これからの中部大学、そして学生サポートセンターのさらなる発展をどうぞ見守ってください。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



不言実行館に設置した故山田公夫館長のメモリアルコーナー